

随想

〈第三十三回〉

チーム力でつかんだ金メダル

市長 米本 弥一郎



この夏、日本中が沸いたパリオリンピック。その中でも印象深かった競技が体操男子団体です。決勝で奇跡の大逆転劇を演じ、2大会ぶりの金メダル獲得で「体操ニッポン」の強さを世界に示してくれました。

今回は、エースの橋本大輝選手のけがによる不調もあり、予選ではライバルの中国に大差をつけられての2位通過でした。決して良い状態とはいえなかったチームに、どのような変化があったのでしょうか。

選手たちはインタビューの中で、決勝前日のミーティングが大きかったと答えています。主将の萱和磨選手が、金メダルを逃した東京オリンピックの悔しさを思い出し「2番は嫌だ」と訴えると、ほかの選手たちも思いを口にしました。このミーティングで、金メダルへの強い気持ちを共有し、本当の意味でチームが

一つになったそうです。

決勝では、萱選手が「絶対、諦めんな」と何度も繰り返し、派手なガッツポーズで鼓舞しました。橋本選手は最終種目の鉄棒に臨む前、チーム全員に頼んで、背中を叩いてもらっています。仲間から力を分けてもらうと、気持ちのこもった見事な演技で金メダルへとつなげました。お互いの本音をぶつけ合い、全員が気持ちを一つにする。そして諦めずに自分の役割を果たし、鼓舞し合い、仲間につないでいく。これこそが「チーム力」なのだ感じたところ。

体操以外の競技でも、選手や監督、スタッフがチーム一丸となり試合に挑む姿が多く見られました。私たちも、より良いまちの実現に向けて「チーム旭」の力を高めていこうと改めて思ったオリンピックでした。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時
土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時
今月の休館日／2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)、30日(月)
閏市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ
日時／7日(土) 午前10時30分～11時
21日(土) 午前10時30分～11時15分
場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「サンショウウオの四十九日」
朝比奈秋 著 (新潮社)
胎児内胎児として伯父から生まれた父をもつ結合双生児の杏と瞬。伯父の死をきっかけに、個々に意識を持つも1つの肉体を共有する自分たちの死を考える。



「わたしの知る花」
町田そのこ 著 (中央公論新社)
突然現れた犯罪者と噂される老人を慕っていた安珠は、彼の訃報を知り彼について調べ始める。他人の幸せを願い、自ら孤独を選んできた老人の人生を描く。

新着図書

- なぜ働いていると本が読めなくなるのか (三宅香帆)
- 読んでばっか (江國香織)
- 奪還 (城内康伸)
- すぐに役立つ最新図解とQ&Aでわかる近隣問題 (木島康雄)
- 会社や社員が犯罪に巻き込まれたときどうする? (海老谷成臣、林秀人)
- 50万語を編む (松井栄一)
- 図解で学ぶ14歳から身につける国際マナー (社会応援ネットワーク)
- 子どもの病気とけが安心ブック (塚越隆司)
- 凍空と日だまりと (あさのあつこ)
- 明智恭介の奔走 (今村昌弘)
- プラチナハーケン1980 (海堂尊)
- 四つの白昼夢 (篠田節子)
- 暗殺 (柴田哲孝)
- 古本食堂 (原田ひ香)
- 六月のぶりぶりぎっちゃん (万城目学)
- 難問の多い料理店 (結城真一郎)
- 消費される階級 (酒井順子)
- 転がる珠玉のように (プレイディみかこ)
- 終わりなき夜に少女は (クリス・ウィタカー)